

やまと 得々 情報

大和木材株式会社

〒891-11

日置郡郡山町郡山1466番地

TEL ; 099-298-2288(代)

FAX ; 099-298-2290

第 7 号

1997年 2 月 1 日

…ホルムアルデヒドの今後…

最近の高気密・高断熱の住宅指向から、室内の微量ガスによる臭気等の問題が増えてきています。特に都市部では、PL法による裁判も増えてきているようです。

この臭気等の問題の大半は、合板や壁紙、塗料等から放散されるもので、ホルムアルデヒド（ホルマリン）が多いようです。このホルムアルデヒドは臭いだけでなく、発ガン性もとりただされております。室内の空気基準は、日本では制定されていませんが、WHO（世界保健機構）では、0.08PPMと定めており、日本でも近々制定されるそうです。

では、私共が供給する木造住宅では、どういう対策をとればよいのでしょうか？

合板等ホルムアルデヒド対策品を使うようにするとか、自然素材を多く使うなどの方法もありますが、コストとの関係で難しい点も多いようです。

そこで、新築住宅引き渡し前に臭気を感じたら、簡易の対策として強制排出と換気を行うと良いでしょう。

室内を閉めきり温・湿度をあげて、発散を促進し換気を行うことを繰り返し反復すれば良いでしょう。



※商品情報

木材は構造材関係が一服感がでてきましたが、今度は新建材の品不足が広がっています。

外装板、フローア、廻り縁、幅木等、品番によっては品不足で入手に時間がかかります。早い手当か、ある物への変更が必要でしょう。

(お問い合わせは、お客様サービス係の森園まで)